

栃身連

第140号

発行所

一般財団法人
栃木県身体障害者福祉会連合会
宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ2階

発行人 麦倉仁巳
TEL 028-624-8408
FAX 028-624-8418

新年のごあいさつ

一般財団法人栃木県身体障害者福祉会連合会

会長 麦倉仁巳



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
関係団体の皆様におかれましては、常日頃より格段のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが世界各地に拡散し、我が国においても緊急事態宣言がなされるなど国民生活に多大な影響を及ぼしています。期待していた東京オリンピック・パラリンピックも一年延期になり、栃木県や当会の活動も制限され、様々な行事が中止となりました。

自粛を余儀なくされる中であっても、引き続き障害種別ごとの障壁を県民の皆さんに理解していただく必要があり、栃身連として会員の意見を取りまとめ、共生社会実現のための意見具申を国や県に対して行ってきただころです。また、当会としても実施可能な事業等を検討し、三密を避けた研修会や情報発信等を行ってきました。

一方、県においても、第4期地域福祉支援計画や次期障害者計画等を策定中であり、新年度から高齢者をはじめ障害者や児童その他すべての人々に対して地域共生社会実現のための方向性が図られることとなります。

今後も各種事業等の制約が予想されますが臨機応変にこの危機を乗り越えたいと思います。

新しい年を迎え、役員一同福祉向上のため邁進する所存ですので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第25回 栃木県身体障害者福祉のつどい

令和2年12月2日
とちぎ福祉プラザ

本年度はコロナ禍により、感染症予防対策をとり、規模を縮小しての開催でしたが、各市町身体障害者福祉会から80余名の参加をいただきました。第一部式典では、来賓の栃木県知事代理、障害福祉課課長、増淵一彦様と栃木県社会福祉協議会会長、菊池康雄様よりご祝辞を頂戴し、宣言案は満場一致をもって賛同をいただきました。

《宣言》

本日、「とちぎ福祉プラザ」において、県内各市町の身体障害者福祉会の皆さまの参加をいただき、「第25回栃木県身体障害者福祉のつどい」を開催することができました。

私たちは2年後の2022年、栃木県において開催される「第22回全国障害者スポーツ大会」に、「とちぎ大会」に向けて、ユニバーサルデザインの街づくりと共生社会の実現を目指し、地域に根ざした心のバリアフリーの促進に積極的に取り組んでまいります。

そして、「ここに集う私たちは、コロナ禍をともに乗り越え、障害者の自立と社会参加を推進し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に努めることを宣言します。」

第二部は、ハープ奏者の阿久津瞳さんの演奏とお話でした。阿久津さんはご自身で国産材を使ってハープを製作し演奏をされています。現在、国産材の消費が少ないため、森林を手入れする資金がなく、荒れた森が全国的に増えている。国産材を使うことが「森を守る」ことにつながり環境にも良い影響を与える。国産材を使うことに興味をもってくれる方が少しでも増えることを願って活動をされているというお話でした。演奏曲目は、クリスマスソング、ジブリミュージック、アイルランド民謡など、心和むひと時でした。



第77回国民体育大会 いちご一会とちぎ国体 令和4(2022)年10月1日～11日

国内で一番大きなスポーツ大会です。大会を通して、いろいろなスポーツを知ってもらい、スポーツの輪を広げることで、町も人も健康で元気になってもらうことを目的としています。

第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会 令和4(2022)年10月29日～31日

毎年国体の後に行われている国内で一番大きな障害者のスポーツ大会です。大会を通して、選手だけでなく日本中の人々に障害者スポーツの楽しさを知ってもらい、障害について理解してもらい、障害について理解するきっかけとなることを目的としています。

栃木県では、両大会の成功に向けて一緒に活動していただく運営ボランティア・情報支援スタッフを募集しています!

●お問い合わせ先／いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局

〈運営ボランティアについて〉

栃木県国体・障害者スポーツ大会局 総務企画課
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 TEL: 028-623-3518 FAX: 028-623-3527
メール: somukikaku@pref.tochigi.lg.jp



案内・受付

来場者受付
会場案内
資料配付など



会場整理

観客誘導
座席案内
駐車場案内など



会場美化

会場清掃
ごみ箱の管理
花の管理など



会場サービス

弁当配布
ドリンクサービス
車椅子貸出しなど



式典運営補助

選手・出演者控室の
管理
手荷物預かりなど



医療救護

救護所での
救護活動の
補助など

〈情報支援スタッフについて〉

栃木県国体・障害者スポーツ大会局 全国障害者スポーツ大会課
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 TEL: 028-623-3844 FAX: 028-623-3527
メール: syousupo@pref.tochigi.lg.jp



手話

話の内容を手話で伝えたり、各種問合せに手話で対応したりします。



筆談

文字で会話をしたり、各種問合せに筆談で対応したりします。



要約筆記(手書き)

ホワイトボードなどを使い、話の内容をその場で文字にして伝えます。



要約筆記(パソコン)

パソコンで入力した文字をスクリーンやモニターに映し出して情報を伝えます。

種 別	応 募 要 件
手 話	聴覚障害者と手話で日常会話ができる程度の方
筆談・要約筆記(手書き)	筆談で聴覚障害者とコミュニケーションをとることに 関心のある方又は手書き要約筆記経験者
要約筆記(パソコン)	パソコン操作(設定やタイピング等)に慣れ、自身のノート パソコンを持参できる方又はパソコン要約筆記経験者

ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramで情報発信中!!



いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会



@tochigikokutai



@tochigikokutai2022

いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会ホームページ

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会

検 索

<http://www.tochigikokutai2022.jp>



J R ジパング倶楽部特別会員

身体障害者手帳では割引とならないJR線の特急券など「片道・往復・連続」で201km以上ご利用の場合に割引となるミドルからシニアの方を対象とした購入割引制度です。第1種身体障害者手帳の方は介助者も同様の割引が適用されます。

※更新希望の方で、新型コロナウイルスの影響により、有効期限内に手続きができない場合、期限を超えても更新として手続き可能になりますのでお知らせします。

詳細はお問い合わせください。

栃身連賛助会員

栃身連の活動を支えてくださる賛助会員を随時募集しています。ご入会いただいた皆さまには「日身連会報」及び「栃身連会報」、その他関連情報をお届けします。

ご支援いただければ幸いです。

●個人会員年会費

- 一□ 2,400円(各市町身体障害者福祉会員)
- 一□ 3,000円(福祉会未入会者)

●団体会員年会費

- 一□ 10,000円

お問合せ・申込先

一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会連合会

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6
(TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418
メールアドレス: toti-sin@juno.ocn.ne.jp



この機関紙は
赤い羽根共同募金配分金
により発行しています

新型コロナ等の感染症対策！

3つの柱

① 3密の回避

- 密閉空間
 - ◆こまめに換気をしましょう。
 - ◆冬は適度な保湿を！（湿度40%以上を目安）
- 密集場所
 - ◆人と人との距離を取りましょう。
- 密接場面
 - ◆密接した会話や発声は避けましょう。



② 新しい生活様式の実践

- 感染リスクが高まる「5つの場面」に気をつけましょう！
- 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を！
 - ◆箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- マスクの着用、咳エチケットの徹底
- 手洗い・手指消毒
 - ◆30秒程度かけて水と石けんで丁寧に！
- 厚生労働省の接触確認アプリ（COCOA）の活用
- LINE『とちまる安心通知』の活用

詳しくは、
こちら→



詳しくは、
こちら→



「栃木県・新型コロナ対策パーソナルサポート」の友だち追加は、こちら→



③ 毎日の健康づくり

- 適度な運動
 - ◆汗を軽くかく程度の運動で免疫力UP！
- バランスの良い食事
 - ◆基本は毎食「主食1つ＋主菜1つ＋副菜2つ」です！
- 口腔ケア
 - ◆寝る前のしっかり歯磨き、舌の掃除も忘れずに！

詳しくは、
こちら→



詳しくは、県ホームページ等をご覧ください。

栃木県保健福祉部健康増進課

令和2年度栃身連研修会

令和2年11月16日
とちぎ福祉プラザ

本年度第2回目の研修会は、「オンライン会議の開き方入門」と題して開催しました。講師は、とちぎボランティアNPOセンター「ぽ・ぽ・ら」の涌泉香織さんと、アシスタントの並木孝夫さんです。直接対面して活動することが困難なコロナ禍では、パソコンやスマートフォン等で使えるテレビ会議システム「ZOOM（ズーム）」等を活用してオンラインで対話しようという動きが広がっています。本研修会では、最近一気に普及した「ZOOM」の仕組み、準備すべきもの、主催者や参加者の操作方法、基本的な機能について学びました。

【オンライン会議の手順】

- 通信環境と機器の準備
スマホでも可能だがマイク・カメラ・スピーカー付きパソコン推奨
- ミーティングのスケジュール
- 参加者向け招待メールの送付
- 参加者の許可

ZOOMの基本的機能には、録音・録画機能、画面共有・ホワイトボード機能、チャット機能、画像やファイルのやりとり等があります。「慣れてしまえば簡単なので、まずは触れることが大事。不明な点はご相談ください」とのことですので、皆さんもぜひ挑戦してみてください。



ZOOMを始める前にインターネット用語をおさらいしてみましょう

- **オンライン**……ネットワークに接続して、パソコンやスマホなどでコミュニケーションなどをすること
- **オフライン**……オンラインの反対語で直接出合ってコミュニケーションなどをすること
- **アプリ**……パソコンやスマホに取り込んで使うソフトウェア（例：ワード・エクセル）
- **インストール**……パソコンやスマホにアプリを取り込むこと
- **クラウド**……インターネットなどのネットワーク上でデータ保存のサービスを提供する形態
- **アカウント**……インターネット上のそれぞれのサービスを利用するための会員登録
- **チャット**……LINEやメッセージャーなどで短い文章で会話形式のやり取りをすること
- **Wi-Fi**……無線でインターネットに接続できるようにするツール（道具）

とちぎボランティアNPOセンター「ぽ・ぽ・ら」

【開館時間】火曜日～土曜日 9:00～17:00 【休館日】日曜日・月曜日・祝日・年末年始

〒320-0032 宇都宮市昭和2-2-7 (TEL) 028-623-3455 (FAX) 028-623-3465

(Mail) popola@tochigi-vnpo.net (HP) <https://www.tochigi-vnpo.net/>

障害者等優先の付帯駐車場7台の他、県庁地下駐車場（2時間まで無料、県庁閉館日を除く）

《ご相談のある方はご予約くださいますようお願いいたします》